会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（八王子原自治会）
2　日時	平成 30 年 9 月 2 日（日）10：00～11：05
3　場所	八王子原自治会館
4　出席者	（資源循環課）添田主幹 （環境事業センター）篠田主幹、鈴木主事 （八王子原自治会）参加人数：27 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●ごみ有料化が財源を確保する手段の一つと認識したところだが、そもそも予算配分が３％と少ないのではないか。 →市では総合計画や実施計画を定め計画的に予算配分を行っている。30 年度は３％であったということである。しかし、少子高齢化による社会構造の変化で、福祉や少子化対策に予算配分が手厚くなる傾向が現状である。 ●スケジュールとして方針決定とあるがこれは何か。また、市民への説明はないか。 →本日の意見交換会では数値として皆様にお示しができない部分がある。戸別収集に要する費用などは、現在収集部門で車両・人員等の増加を調査しているところである。方針決定に際しては、意見交換会でのアンケート結果、形は決めていないが再度の市民向け説明会及びパブリックコメントを行い、詳細な部分を幅広い市民に対し説明していきたい。 ●ごみの有料化を絶対に実行するということか。 →実施するか否かは現段階において検討中である。その方針決定のための調査を行っているところである。 ●燃えるごみの内 25%が不適正排出であるとは、どのような調査をしたのか。正確性はあるのか。 →平成 28 年度に市域を４区分し、各地区の可燃ごみの一部を手選別により調査した結果の平均値である。 ●戸別収集の場合、集合住宅はどのような扱いになるのか。現状通りのステーション方式の収集では不適正排出の抑制には繋がらないのではないのか。 →先行自治体における集合住宅の扱いは、従前どおり集合住宅の集積場への排出である。有料化の際には、袋に部屋番号を記載できる欄を設けるなどの工夫があり得る。 ●汚れたプラは、どの程度洗えばいいのか。洗いすぎれば環境負荷が増すことになる。 →ごみの分け方出し方には「水ですすぐ、軽く汚れをふき取る。」と記載しており、この表現は変えていない。環境負荷とリサイクルの分岐点の判断は難しいが、この洗い方で判断してもらいたい。 ●戸別収集の対象品目は何か。 →現時点未定であるが、先行市でみると燃やせるごみと燃やせないごみから開始して

	いる。 ●集合住宅への啓発をしっかりと行ってもらいたい。 →「ごみの分け方出しかた」の配布で言えば、転入者は市民課から資源循環課へ誘導するなどしている。近頃は、管理会社が積極的に資料を受け取りに来ているので、管理会社への啓発も図りたい。市では、自治会未加入者への啓発として、意見交換会の資料をホームページに掲載するなどの取り組みを行っている。 ●有料化をするのであれば、戸別収集の実施を求める。 →貴重なご意見として賜り、研究してまいりたい。 以上